



にしきの つうしん
錦乃通信

Mamiya J.H.S School News

令和8年5月29日(金)

さいたま市立馬宮中学校

令和8年度 第3号

学校教育目標

未来を拓け ~自己の創造・生きる自信~

SINCE 1947

School Education Goal

Open your Future ~Self Creation ・ Confidence to live~

「挑戦の中で育つ力」

校長 ^え衛 ^{とう}藤 ^{しん}伸 ^{すけ}介

薫風爽やかな季節となり、校庭の木々も鮮やかな緑に包まれています。日ごとに強まる陽射しからも、季節の移り変わりを感じるようになりました。保護者並びに地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に対し、温かい御理解と多大なる御支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、本校では今週体育祭を実施いたしました。本番に至るまでの数週間、生徒たちは限られた時間の中で、練習や準備に真剣に取り組んできました。競技の練習や演技の確認だけでなく、役割分担を決めたり、勝利を目指して作戦を考えたりする中で、多くの話し合いが行われました。思うように動きがそろわなかったり、意見の違いから話し合いが難航したりする場面もあったようですが、その一つ一つが、生徒たちにとって大きな学びと成長の機会となりました。互いの考えを尊重することの大切さ、自分の思いを伝えることの難しさ、そして相手の立場を考えながら折り合いをつけていく経験は、日常の授業だけでは得がたい貴重なものです。仲間と協力しながらよりよいものを目指そうとする姿は、中学生として、そして集団の一員としての意識を大きく高める時間であったと感じています。

体育祭当日は、これまで積み重ねてきた努力が存分に発揮され、競技や演技に全力で臨む生徒たちの姿が随所に見られました。全身を使って競技に挑む姿、声を枯らして仲間を応援する姿、思うような結果が出ず悔しさをにじませる表情など、一つ一つの場面が生徒たちの真剣さを物語っていました。勝敗が決まる場面では、喜びや悔しさが入り交じる表情も見られましたが、最後まで諦めずにやり抜く姿勢や、仲間を思いやり励まし合う姿は、大変立派なものでした。

明日からは、運動部の学校総合体育大会が本格的に始まります。この大会は、日々の練習の成果を試す場であると同時に、これまで共に努力してきた仲間や指導者、今まで支えていただいた保護者への思いを胸に、自分自身と向き合う大切な機会でもあります。大会を前にした生徒たちの表情からは、緊張とともに、これまで積み上げてきたものへの自信や覚悟が感じられます。結果がはっきりと示される場ではありますが、勝敗だけがすべてではありません。目標に向かって努力を続けた過程や仲間と支え合いながら困難を乗り越えてきた経験は、今後の人生においてかけがえのない財産となります。大会に臨む一人ひとりが、自分の力を精一杯発揮し、悔いのない時間を過ごしてくれることを願っています。

体育祭や学校総合体育大会といった様々な行事や活動は、教室での学びだけでは得ることのできない、多くの学びを生徒たちに与えてくれます。仲間との関わりの中で自分の役割を考え、責任を果たそうとする経験は、生徒一人ひとりの「生きる力」を着実に育てています。

これからの学校生活においても、生徒たちが自ら考え、判断し、行動できる力を身に付けられるよう、教職員一同、日々の授業や学校行事、部活動を通して、丁寧な指導と温かな支援を続けてまいります。そして、生徒たちが互いの違いを認め合い、支え合いながら成長していける学校づくりを、今後も大切にしていきたいと考えています。

今後とも、本校の教育活動に対し、保護者・地域の皆様の変わらぬ御理解と御協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。